

令和 7 年度 福井大学社会教育主事講習（資格付与講習） 実施要項

1. 目 的

この講習は、社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 9 条の 5 の規定及び社会教育主事講習等規程（昭和 26 年文部省令第 12 号）に基づき実施するもので、社会教育主事の職務を遂行するのに必要な専門的知識、技能を修得させ、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的としています。

なお、講習修了者は「社会教育士」と称することができます。

2. 実施機関 国立大学法人福井大学

3. 開催期間 令和 7 年 7 月 1 2 日（土）～令和 7 年 1 0 月 2 0 日（月）

4. 受講資格

社会教育主事講習等規程第 2 条の各号の一に該当する方
詳細は、別紙資料「社会教育主事講習の受講資格について」を確認してください。
なお、**北陸地区（富山県、石川県、福井県）在住又は在勤の方に限定**します。
※令和 6 年度までの本学講習を分割受講された方については、在住・在勤地に関わらず受講申込いただけます。

5. 定 員

6 0 名 【福井会場】 3 5 名 【石川会場】 2 5 名
※受講申込の際に希望する会場を選択してください。ただし、希望状況によっては希望通りにならない場合もあります。
※受講希望者数が定員を上回った場合、受講者を選定します。受講者選定の取扱いについては、「11. 受講者の決定及び通知」を参照してください。

6. 実施場所

【福井会場】 福井大学 文京キャンパス 総合研究棟 I 13 階 大会議室
(〒910-8507 福井県福井市文京 3 丁目 9 番 1 号)

【石川会場】 石川県庁 会議室
(〒920-0861 石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地)
※別表 2「石川会場実施会場一覧」をご確認ください。

※**受講会場に関わらず、本講習に係る問合せ・ご連絡は福井大学総合教職開発本部（0776-27-8997）あてにお願いいたします。**

7. 開設科目・形態及び単位

社会教育主事講習等規程第 3 条の規定に基づき、4 科目 8 単位を開設します。

「生涯学習概論」	（遠隔・ライブ配信型）	2 単位
「生涯学習支援論」	（集合型）	2 単位
「社会教育経営論」	（集合型）	2 単位
「社会教育演習」	（遠隔・ライブ配信型）	2 単位

※「遠隔・ライブ配信型」…指定の日時に自宅等で受講する形態

※「集合型」…指定の日時に会場で受講する形態

詳しい日程、講義内容・テーマ、教育方法、配当時間数及び担当講師予定者の職氏名等については、別表1をご覧ください。

8. 遠隔受講の方法・要件

「生涯学習概論」、「社会教育演習」は、遠隔・ライブ配信型で開講しますので、各自、自宅等で受講いただくことになります。遠隔受講においては、以下の環境が必要です。必ずご準備ください。

☐ 1人1台使用できるパソコン（インターネットに安定的に接続できること）

※複数の受講者で1台のPCを共有して受講することは不可

☐ webカメラ（PCに内蔵の場合は不要）

☐ ヘッドセット（PCにマイク・スピーカーが内蔵されている場合は不要）

☐ Microsoft Wordが使用可能であること

☐ zoomが支障なく利用可能であること

9. 講習科目の代替申請

社会教育主事講習等規程第7条第2項及び第3項の規定により、大学における科目の既修得単位及び文部科学大臣が定める学修をもって、講習の科目の単位として認定を希望する方は、社会教育主事講習単位修得認定申請書に単位修得証明書等の修得済みの単位を証明できる書類を添えて提出してください。

ただし、受講申し込み時点で未修得の単位については認定できません。

10. 受講申込方法及び提出期限

(1) 提出書類

① 受講申込書（様式1）

※「E-mailアドレス」については、以下の注意事項をよくご確認ください。

【メールに関する注意事項】

講習に関する各種連絡等をメールにて一斉送信します。受講申込後はメールアドレスの変更はできませんので、必ず以下のア～オの要件を全て満たすメールアドレスを一つのみ記載してください。

ア：平日や休日を問わず、常時確認が可能なメールアドレスであること

イ：受信データサイズに制限がないこと

ウ：添付ファイルの開封・閲覧等が可能であること

エ：キャリアメール（docomo、au、Softbank等の携帯メール）は不可

オ：個人所有のメールアドレスであること。職場の代表アドレス等は不可

② 受講資格を証明する書類

（卒業又は修了証明書（証明書の写しは不可）、教育職員免許状の写し、所属長の勤務証明書（様式2）等。社会教育主事講習等規程第2条の各号のうち、**受講申込書（様式1）に記載した1点のみ**でよい）

（注）教育職員免許状の写しは、必ず、所属長又は所轄長の原本と相違ない旨の証明つきのものであること。

③ 履歴書（様式3）

④ 戸籍抄本（※各証明書等に記載の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ）

⑤ 返信用封筒 1 通（角形 2 号（A4 サイズ））

※講習修了証書送付用として 490 円分の切手（簡易書留利用のため）を貼付の上、宛名を明記すること。

(2) 講習科目の代替

福井大学において実施する本講習では省令第 7 条第 2 項及び第 3 項の規定により、大学における科目の既修得単位及び文部科学大臣が定める学修をもって、本講習において受講者が修得すべき科目の単位に替えることができます。ただし、4 科目全ての代替は認めませんので、1 科目以上（科目は問いません）は受講してください。希望する方は、次の書類を備え、受講申込書とともに勤務地又は居住地の県教育委員会に提出してください。

① 社会教育主事講習単位修得認定申請書（様式 4）

② 単位修得証明書

- ・過去に社会教育主事講習で修得した科目の場合…「社会教育主事講習単位修得証明書」を提出
- ・大学の社会教育主事養成課程で修得した科目の場合…社会教育主事資格科目の「単位修得証明書」を提出（「成績証明書」は不可）
- ・本学「履修証明プログラム」で履修した科目の場合…「履修証明書」、又は「修了証書」の写し（所属長による原本証明が必須）を提出

※上記の**証明書は原本に限り**ます。写しは不可。

(3) 分割受講

本講習では、複数年度にわたる分割受講を認めています。

ただし、一つの科目内での分割受講はできません。

分割受講を希望される方は、受講申込書の「受講希望科目」欄に、本年度受講希望科目のみに○印をつけてください。

令和 2～6 年度に本学社会教育主事講習を分割受講した方は、受講申込書の「本学講習で修得済の科目」欄に○印をつけ、受講終了後に発行した「単位修得証明書」を併せてご提出ください。（再発行は有料です。希望する場合は福井大学総合教職開発本部までお問い合わせください）。

受講申込者は、必要な書類を整え、**5 月 26 日（月）までに、勤務地又は居住地の県教育委員会に提出**してください。

県教育委員会は、申請書類により受講資格の有無を審査の上、とりまとめ受講申込者名簿（所定様式）を添えて、**6 月 9 日（月）までに**下記あて送付してください。

提出先：福井大学 総合教職開発本部

〒910-8507 福井県福井市文京 3 丁目 9 番 1 号

なお、受講申込者から「(2) 講習科目の代替」の社会教育主事講習単位修得認定申請書等の提出があった場合は、併せて提出してください。

11. 受講者の決定及び通知

福井大学が運営委員会の意見を基に受講者を選定し、その結果を、推薦のあった県教育委員会及び受講者本人にメールにて通知します（6月末～7月初旬を予定）。

なお、受講対象者の選考を行う際には、新たに社会教育主事となる資格を得ようとする者のうち、以下の順で優先順位をつけることとします。

※受講者の決定に必要な書類等で不備がある場合、選考対象から除外することがあります。

- ① 教育委員会事務局職員、公民館等職員
- ② 学校教員
- ③ 首長部局職員
- ④ その他

12. 受講者の集合日時及び場所

集合日時、場所については、受講許可通知メールの送付と併せてご案内いたします。集合型で開講する「生涯学習支援論」、「社会教育経営論」は受付にて確認を行いますので、メールの通知画面をご提示いただくか、メール文面を印刷してお持ちください。

なお、他会場とのオンラインセッション、レポート執筆等を行いますので、ノート PC を持参いただくことになります。以下の要件を満たす PC をご準備ください。

- ・ Microsoft Word が使用可能であること
- ・ zoom が支障なく利用可能であること
- ・ ヘッドセット（マイク機能付きイヤホン）

個人で所有していない場合には、職場等で貸与を受ける等して 1 台必ずご準備ください。本学からの貸与はできません。

13. 受講に要する経費

受講料は徴収しません。ただし、受講に関する経費（交通費、食費、宿泊費等）は、受講者の負担とします。

14. 講習期間中の交通手段について

- ① 福井会場で受講する方

自家用車での本学キャンパスへの入構はできませんので、公共交通機関を利用してください。やむを得ず自家用車を使用する場合は、近隣のコインパーキング等を利用してください。自転車の方は、構内の駐輪場をご利用ください。

- ② 石川会場で受講する方

駐車場はありますが、なるべく公共交通機関を利用してください。

15. 修了証書の授与

社会教育主事講習等規程第 3 条に定める単位（8 単位）を修得した方に対し、同規程第 8 条により福井大学長が修了証書を授与します。併せて、講習修了者は「社会教育士」の称号が得られます。一部の科目のみ修得した方に対しては、修得した科目の単位修得証明書を発行します。（修了証書、単位修得証明書は、令和 8 年 2 月頃の発送を予定しています。）

16. 宿泊について

宿泊の斡旋は行いません。

17. 個人情報の取扱について

提出された書類等に記載された氏名、住所、電話番号等の個人情報は、下記の目的に限り利用します。

- (1) 福井大学における社会教育主事講習の実施に関する業務
- (2) 県等教育委員会において、履修認定等に必要と認める場合

なお、社会教育主事講習の修了者の氏名・所属については、今後自治体から継続的な学習機会に関する情報提供や各自治体の実施する事業への協力依頼をお願いするために、書類を提出した都道府県教育委員会へ情報提供を行います。また、受講申込書の「個人情報の提供に同意する」の項目にチェックがある場合に限り、受講申込書の「提供可能連絡先」の回答内容について、各都道府県教育委員会へ情報提供を行うことがあります。

18. その他注意事項

- ・ 非常変災時や感染症の感染状況によっては、開講形態の変更や、講習日程を変更・中止することがあります。
要項の内容に変更が生じた場合には、本学ホームページ
(https://www.u-fukui.ac.jp/user_local/lifelong/syakaikyoiku/) にて案内します。
- ・ 講習の受講に際し、よくある質問を本学ホームページ
(https://www.u-fukui.ac.jp/user_local/lifelong/syakaikyoiku/) に掲載していますので、併せてご確認ください。

福井大学社会教育主事講習 運営委員会事務局

福井大学 総合教職開発本部
〒910-8507 福井県福井市文京 3 丁目 9 番 1 号
TEL : (0776) 27-8997
FAX : (0776) 27-8731
E-mail : gpdt-all@ml.u-fukui.ac.jp

令和7年度 社会教育主事講習日程表

科目名	単位数	月 日	時 間	時間数	内 容・テーマ	講師の職・氏名	実施方法
生涯学習概論 (オンライン)	2	7/12 (土)	9:00-10:30	1.5	オリエンテーション:社会教育主事/社会教育士のための講習 その意味と課題	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
			10:40-12:10	1.5	実践を通して実践を学ぶ:三つの種	福井大学教授 半原芳子	演習
			13:00-14:30	1.5	生涯学習の理念と施策をめぐる三つの提案	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
			14:40-16:10	1.5	生涯学習振興施策の動向	文部科学省担当官	講義(配信)
			16:20-17:50	1.5	生涯学習の理念と施策をめぐる中間的省察と共有	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
		7/13 (日)	9:00-10:30	1.5	社会教育の意義と展開	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
			10:40-12:10	1.5	社会教育の法と制度	福井大学特命教授 柳澤昌一	講義・演習
			13:00-14:30	1.5	社会教育の展開を支える	元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
			14:40-16:10	1.5	地域における学習の展開とその意味	福井大学教授 半原芳子	講義・演習
			16:20-17:50	1.5	地域における学習の多様な展開	福井大学教授 半原芳子	講義・演習
		7/14 (月)	9:00-10:30	1.5	地域における学習コミュニティの展開1	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
			10:40-12:10	1.5	地域における学習コミュニティの展開2	福井市担当者 福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
			13:00-14:30	1.5	学校における協働探究の展開と地域との関わり	福井大学客員教授 三田村彰	講義・演習
			14:40-16:10	1.5	地域における学習の展開を共有しそれを支える役割について検討する	福井大学客員教授 三田村彰	講義・演習
			16:20-17:50	1.5	生涯学習をめぐる包括的な省察と共有	福井大学特命教授 柳澤昌一 福井大学客員教授 三田村彰 元・富山大学教授 藤田公仁子	演習

小 計 22.5

科目名	単位数	月 日	時 間	時間数	内 容・テーマ	講師予定者の職・氏名	実施方法
生涯学習支援論 (対面)	2	7/29 (火)	9:00-10:30	1.5	オリエンテーション:協働の学び・協働活動のファシリテーション・コーディネーションへの問い	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義
			10:40-12:10	1.5	三つの種:学びの経験をふり返し共有し協働の学びへの展望を開く	福井大学教授 半原芳子 福井大学客員教授 三田村彰	演習
			13:00-14:30	1.5	社会教育において求められる学習のあり方とそのためのファシリテーション・コーディネーション	福井大学教授 半原芳子 福井大学客員教授 三田村彰	講義・演習
			14:40-16:10	1.5	協働の学びの実践例を取り上げそれを支えるファシリテーション・コーディネーションを探る	コースワーカー協議会代表 水野篤夫 福井大学非常勤講師 前田健志	演習
			16:20-17:50	1.5	協働の学びの展開を比較検討し、それを支える多様なファシリテーション・コーディネーションを学ぶ	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
		7/30 (水)	9:00-10:30	1.5	協働の学びを支える互いの経験をふり返し照らし合う	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
			10:40-12:10	1.5	長期的な協働学習展開とそのコミュニティのコーディネーションを探る①協働学習の立ち上げとそのファシリテーション・コーディネーション	コースワーカー協議会代表 水野篤夫 福井大学非常勤講師 前田健志	講義・演習
			13:00-14:30	1.5	長期的な学習展開とそのコミュニティのコーディネーションを探る②協働学習の持続的展開とそのコーディネーション	コースワーカー協議会代表 水野篤夫 福井大学非常勤講師 前田健志	講義・演習
			14:40-16:10	1.5	長期的な学習展開とそのコミュニティのコーディネーションを探る③協働学習とそのコミュニティの変革期を支えるコーディネーション	コースワーカー協議会代表 水野篤夫 福井大学非常勤講師 前田健志	講義・演習
			16:20-17:50	1.5	長期的な学習展開とそのコミュニティのコーディネーションを探る④複数の協働学習コミュニティを結ぶコーディネーション	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
		7/31 (木)	9:00-10:30	1.5	協働学習コミュニティの発展過程とそれを支えるファシリテーション・コーディネーションの分析・整理	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
			10:40-12:10	1.5	協働学習コミュニティとそのファシリテーション・コーディネーションの評価	コースワーカー協議会代表 水野篤夫 福井大学非常勤講師 前田健志	講義・演習
			13:00-14:30	1.5	協働学習コミュニティを支えるファシリテーター・コーディネーターの力量形成	コースワーカー協議会代表 水野篤夫 福井大学非常勤講師 前田健志	講義・演習
			14:40-16:10	1.5	協働学習コミュニティを支える組織・制度	コースワーカー協議会代表 水野篤夫 福井大学非常勤講師 前田健志	講義・演習
			16:20-17:50	1.5	協働学習の展開とそのコミュニティを支えるファシリテーション・コーディネーションをめぐる総合的省察とその共有	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	演習

小 計 22.5

科目名	単位数	月 日	時 間	時間数	内容・テーマ	講師予定者の職・氏名	実施方法
社会教育経営論 (対面)	2	8/6 (水)	9:00-10:30	1.5	社会教育行政・施設の組織とそのマネジメント:アプローチの意味と課題	福井大学特命教授 柳澤昌一	講義
			10:40-12:10	1.5	社会教育行政・施設の組織とそのマネジメントの基本的課題	福井大学客員教授 三田村彰 福井県・石川県・富山県担当者 元・富山大学教授 藤田公仁子	演習
			13:00-14:30	1.5	社会教育行政・組織のマネジメント:目標・組織・評価と組織発展展望	福井大学客員教授 三田村彰 福井県・石川県・富山県担当者 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
			14:40-16:10	1.5	地域活性化とそれを支える社会教育行政の役割	福井県・石川県・富山県担当者	演習
			16:20-17:50	1.5	経営戦略における「計画」と「予算」	福井大学客員教授 三田村彰 福井県・石川県・富山県担当者 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
		8/7 (木)	9:00-10:30	1.5	生涯学習・社会教育を支える基盤組織のマネジメント実践事例研究:その視点と方法	福井大学特命教授 柳澤昌一	講義・演習
			10:40-12:10	1.5	学習組織展開のための基盤組織の目的と機能:学習課題の把握と広報戦略	福井大学客員教授 三田村彰 福井県担当者 福井大学特命教授 柳澤昌一	講義・演習
			13:00-14:30	1.5	地域活性化のための社会教育行政・施設の具体的な方策に関わり具体的な経営計画作りを進める①現状把握と目的設定	福井大学客員教授 三田村彰 福井県担当者 福井大学特命教授 柳澤昌一	講義・演習
			14:40-16:10	1.5	地域活性化のための社会教育行政・施設の具体的な方策に関わり具体的な経営計画作りを進める②長期的な展開計画と短期的な活動計画	福井大学客員教授 三田村彰 福井県担当者 福井大学特命教授 柳澤昌一	講義・演習
			16:20-17:50	1.5	地域活性化のための社会教育行政・施設の具体的な方策に関わり具体的な経営計画作りを進める③人的組織とそのマネジメントに関わる見直し	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
		8/8 (金)	9:00-10:30	1.5	地域活性化のための社会教育行政・施設の具体的な方策に関わり具体的な経営計画作りを進める④予算資金の計画	福井大学特命教授 柳澤昌一 岡山市公民館長 内田光俊 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
			10:40-12:10	1.5	地域活性化のための社会教育行政・施設の具体的な方策に関わり具体的な経営計画作りを進める⑤取り組みの評価とその組織化	福井大学客員教授 三田村彰 福井県担当者 岡山市公民館長 内田光俊 福井大学特命教授 柳澤昌一	講義・演習
			13:00-14:30	1.5	社会教育マネジメント事例研究の総合的省察	福井大学客員教授 三田村彰 福井県担当者 岡山市公民館長 内田光俊 福井大学特命教授 柳澤昌一	講義・演習
			14:40-16:10	1.5	社会教育マネジメント事例研究の比較研究	福井大学客員教授 三田村彰 福井県担当者 岡山市公民館長 内田光俊 福井大学特命教授 柳澤昌一	講義・演習
			16:20-17:50	1.5	社会教育マネジメント事例研究の共有	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	演習

科目名	単位数	月 日	時 間	時間数	内容・テーマ	講師予定者の職・氏名	実施方法
社会教育演習 （オンライン）	2	10/18 （ 土 ）	9:00-10:30	1.5	長期実践事例研究の意義と方法①（長期プロセスの跡づけの意味と方法）	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義
			10:40-12:10	1.5	実践展開の背景と前提	福井大学教授 半原芳子 ユースワーカー協議会代表 水野篤夫 元・富山大学教授 藤田公仁子 福井大学非常勤講師 前田健志	演習
			13:00-14:30	1.5	実践の目的設定		講義・演習
			14:40-16:10	1.5	実践の組織化（1）初期サイクル① 準備過程		演習
			16:20-17:50	1.5	実践の組織化（1）初期サイクル② 最初のプロジェクトの展開		福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子
		10/19 （ 日 ）	9:00-10:30	1.5	長期実践事例研究の意義と方法②（長期的な展開を支える組織を探る）	福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子	講義・演習
			10:40-12:10	1.5	実践の組織化（2）持続的な展開① 第二サイクルの展開	福井大学教授 半原芳子 ユースワーカー協議会代表 水野篤夫 元・富山大学教授 藤田公仁子 福井大学非常勤講師 前田健志	講義・演習
			13:00-14:30	1.5	実践の組織化（2）持続的な展開② 持続のための組織化		講義・演習
			14:40-16:10	1.5	実践の組織化（2）持続的な展開③ 世代のサイクル		講義・演習
			16:20-17:50	1.5	実践の組織化プロセスの中間的な共有と比較検討		講義・演習
		10/20 （ 月 ）	9:00-10:30	1.5	長期実践事例研究の意義と方法③（長期的展開を支える組織制度／実践力形成）		福井大学特命教授 柳澤昌一 元・富山大学教授 藤田公仁子
			10:40-12:10	1.5	実践の組織化（3）組織の転換と中核メンバーの交代サイクル	福井大学教授 半原芳子 ユースワーカー協議会代表 水野篤夫 元・富山大学教授 藤田公仁子 福井大学非常勤講師 前田健志	講義・演習
			13:00-14:30	1.5	長期的実践と実践者の成長		講義・演習
			14:40-16:10	1.5	長期的実践を支える組織と制度		講義・演習
			16:20-17:50	1.5	地域を越えて学習プロセスの共有と比較検討		福井大学教授 半原芳子 元・富山大学教授 藤田公仁子

令和7年度社会教育主事講習(石川会場)実施会場一覧

科目名	日程	会場
生涯学習概論	7月12日(土)	遠隔受講(ライブ配信型)
	7月13日(日)	遠隔受講(ライブ配信型)
	7月14日(月)	遠隔受講(ライブ配信型)
生涯学習支援論	7月29日(火)	石川県庁(14階会議室)
	7月30日(水)	石川県庁(14階会議室)
	7月31日(木)	石川県庁(14階会議室)
社会教育経営論	8月 6日(水)	石川県庁(14階会議室)
	8月 7日(木)	石川県庁(14階会議室)
	8月 8日(金)	石川県庁(14階会議室)
社会教育演習	10月18日(土)	遠隔受講(ライブ配信型)
	10月19日(日)	遠隔受講(ライブ配信型)
	10月20日(月)	遠隔受講(ライブ配信型)

※入室は午前8時半以降となります。

(様式 1)

令和 7 年度社会教育主事講習（資格付与講習）受講申込書

令和 7 年 月 日

国立大学法人 福井大学長 殿

氏 名

令和 7 年度社会教育主事講習を受講したいので受講資格を証明する関係書類を添えて下記により申し込みます。

記										
フリガナ 氏 名				生年月日	昭・平 年 月 日 (西暦 年)			満 歳	※令和7年5月31日時点	
現住所	(〒) 連絡先 (TEL) / 緊急時連絡先 (TEL) (E-mail :) ※講習の各種連絡、資料の送付等は上記のE-mailアドレス宛に送付します。常に確認可能なPCメールアドレスを記載すること									
所属先	名 称	(勤務先 :)								
	職 名				常勤・非常勤の別					
	所 在 地	(〒)								
	連 絡 先	TEL								
		E-mail								
		個人情報 提供の有無	修了者の氏名・所属については、提出先の教育委員会へ情報提供します。 ☐ 修了者の氏名・所属に加えて、個人情報の提供可能連絡先の提供に同意いたします。 ※備考3について同意する場合、 ☐ にチェックすること。							
個人情報の提供 可能連絡先		いずれも可・TELのみ可・E-mailのみ可・提供不可 その他 ()								
受講科目 ※該当する科目に○印を つけること	科 目	単 位	受講希望科目		単位認定申請科目		本学講習で修得済の科目			
	生涯学習概論	2								
	生涯学習支援論	2								
	社会教育経営論	2								
	社会教育演習	2								
希望する受講会場（希望に○印をすること）				1. 福井会場 2. 石川会場						
受講資格	社会教育主事講習等規程第2条の第 号に該当									
最終学歴										
職 歴	自 年 月 至 月 (年 カ月)									
※第3、4、5号該当者 は必ず記入	自 年 月 至 月 (年 カ月)									
	自 年 月 至 月 (年 カ月)									
	自 年 月 至 月 (年 カ月)									

※勤務先は所属先と異なる場合に記入してください。例：(株)〇〇会社（勤務先：〇〇図書館）

(備 考)

- 1 受講申込様式の記載にあたっては、記入見本を参照すること。
- 2 受講資格を証明する関係書類は、卒業又は修了証明書、教育職員の普通免許状の写し、所属長の勤務証明書等とする。
- 3 今後自治体から継続的な学習機会に関する情報提供や各自治体が実施する事業への協力依頼をお願いするために、社会教育主事講習の修了者の氏名・所属について書類を提出した都道府県教育委員会へ情報提供を行う。提供可能連絡先については、個人情報の提供に同意する場合にチェックがある場合に限り、各都道府県教育委員会へ情報提供を行う。

勤 務 証 明 書

氏 名

生年月日

上記の者は本 〇〇〇〇に下記のとおり勤務していたことを証明する。

記

期 間					職 名	職務内容
自	年	月				
至	年	月(年 力月)				
自	年	月				
至	年	月(年 力月)				
自	年	月				
至	年	月(年 力月)				

令和 7年 月 日

所属長氏名



注意

- 1 職名の欄には発令されたとおりの職名を記入すること。
- 2 職務内容の欄には、従事した職務の内容を具体的に記入すること。
- 3 この証明書は、規程第2条の第3、第4、第5号該当者のみ添付すること。

(様式 3)

履 歷 書

令和 7年 5月31日現在

ふりがな	性別
氏名	男 ・ 女
生年月日	
昭 ・ 平	年(西暦) 月 日 (満 歳)

写真をはる位置

1. 縦 40～46 mm
横 30～35 mm
2. 本人単身胸から上
3. 裏面のりづけ

[illegible]

(様式 4)

社会教育主事講習単位修得認定申請書

下記の表に掲げる事由を証する書類を添えて次のとおり申請いたします。

令和 7年 月 日

国立大学法人 福井大学長 殿

氏 名

記

	認定を希望する科目及び単位数		修得済みの科目及び単位数	
科目				
申請事由及び適用条件				
備 考				

(様式 1)

全員提出

令和 7 年度社会教育主事講習（資格付与講習）受講申込書

記入例

令和 7 年 5 月 1 日

国立大学法人 福井大学長 殿

氏 名 福大 太郎

令和 7 年度社会教育主事講習を受講したいので受講資格を証明する関係書類を添えて下記により申し込みます。

ふりがな	ふくだい たろう	平日・休日問わず確認できる PC メールアドレスを記入		記		生年月日		昭 平 2 年 1 月 1 日 (西暦 1990 年)	満 33 歳 ※令和7年5月31日時点			
氏 名	福大 太郎											
現住所	(〒910-8507) 福井県福井市文京3丁目9番1号 サポートマンション 10		令和 6 年度以前に本学以外の講習、大学等の養成課程、本学履修証明プログラムで修得し、受講免除を申請する科目に○印									
	連絡先 (TEL 0776-**-****) / 緊急時連絡先 (TEL 090-****-****) (E-mail: kyoumu-***@ml.u-fukui.ac.jp)											
	※講習の各種連絡、資料の送付等は上記のE-mailアドレス宛に送付します。常に確認可能なPCメールアドレスを記載すること。											
所属先	名 称	国立大学法人 福井大学		(勤務先:)								
	職 名	主任		常勤・非常勤の別		常勤						
	所 在 地	(〒910-8507) 福井県福井市文京3丁目9番1号		令和 7 年度講習で受講を希望する科目に○印				令和 2～6 年度の本学社会教育主事講習で修得した科目に○印				
	TEL											
	E-mail											
	個人情報提供の有無	修了者の氏名・所属については、提出先の教育委員会へ情報提供します。 ☑修了者の氏名・所属に加えて、個人情報の提供可能連絡先の提供に同意いたします。 ※備考3について同意する場合、□にチェックすること。										
	個人情報の提供可能連絡先	いずれも可・TELのみ可・E-mailのみ可・提供不可 その他 ()										
受講科目	科 目	単 位	受講希望科目	単位認定申請科目	本学講習で修得済の科目							
※該当する科目に○印をつけること	生涯学習概論	2		○								
	生涯学習支援論	2	○									
	社会教育経営論	2	○									
	社会教育演習	2				○						
希望する受講会場 (希望に○印をすること)			1 福井会場		2. 石川会場							
受講資格	社会教育主事講習等規程第 2 条の第 1 号に該当											
最終学歴	●●大学 ●●学部 卒業											
職 歴	自 年 月 至 月 (年 カ月)											
※第3, 4, 5号該当者は必ず記入	自 年 月 至 月 (年 カ月)											
	自 年 月 至 月 (年 カ月)											
	自 年 月 至 月 (年 カ月)											
		受講資格で第 3、4、5 号を記入した方は、該当する職歴を記入 ※1、2 号の方は記入不要										

※勤務先は所属先と異なる場合に記入してください。例：(株)〇〇会社（勤務先：〇〇図書館）

(備 考)

- 1 受講申込様式の記載にあたっては、記入見本を参照すること。
- 2 受講資格を証明する関係書類は、卒業又は修了証明書、教育職員の普通免許状の写し、所属長の勤務証明書等とする。
- 3 今後自治体から継続的な学習機会に関する情報提供や各自治体が実施する事業への協力依頼をお願いするために、社会教育主事講習の修了者の氏名・所属について書類を提出した都道府県教育委員会へ情報提供を行う。提供可能連絡先については、個人情報の提供に同意する場合にチェックがある場合に限り、各都道府県教育委員会へ情報提供を行う。
また、福井大学が氏名・所属・提供可能連絡先の情報を活用する場合もある（社会教育主事講習中にかかる事務を除く）。

勤 務 証 明 書

氏 名 福大 太郎

生年月日 平成 2 年 1 月 1 日

上記の者は本 ●●生涯学習センター に下記のとおり勤務していたことを証明する。

記

期 間				職 名	職務内容
自	年	月			
至	年	月 (年	ヵ月)		
自	年	月			
至	年	月 (年	ヵ月)		
自	年	月			
至	年	月 (年	ヵ月)		

受講資格で第 3、4、5 号を記載した方は提出が必要
第 1、2 号の方は提出不要

令和 7 年 月 日

所属長氏名

印

注意

- 1 職名の欄には発令されたとおりの職名を記入すること。
- 2 職務内容の欄には、従事した職務の内容を具体的に記入すること。
- 3 この証明書は、規程第2条の第3, 第4, 第5号該当者のみ添付すること。

(様式 3)

記入例

履 歷 書

全員提出

令和 7年 5月31日現在

ふりがな ふくだい たろう	性別
氏名 福大 太郎	男 ・ 女
生年月日	
昭 ・ 平	2 年(西暦 1990 年) 1 月 1 日 (満 32 歳)

写真をはる位置

1. 縦 40～46 mm
横 30～35 mm
2. 本人単身胸から上
3. 裏面のりづけ

[illegible]

福井大学

社会教育主事講習単位修得認定申請書

既修得単位の認定希望者（「様式 1」の「単位認定申請科目」で 1 科目以上に○をつけた方）は、本申請書に加え、「社会教育主事講習単位修得証明書」又は「社会教育主事資格科目単位修得証明書」（本学履修証明プログラムの場合は「修了証書の写し（原本証明必須）」）の提出が必要です。
※福井大学社会教育主事講習の分割受講者（「様式 1」の「本学講習で修得済の科目」で 1 科目以上に○をつけた方）は「社会教育主事講習単位修得証明書」の提出のみで、本申請書の提出は不要です。

国立大学法人 福井大学長 殿

今回講習の科目で、受講免除を申請する科目・単位数を記載

氏 名 福
記

大学や講習等で修得した科目名と修得単位数を対応関係がわかるように記載。
 ※福井大学履修証明プログラムの場合は単位数の欄に時間数を記載

	認定を希望する科目及び単位数		修得済みの科目及び単位数	
科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論 I	2
			生涯学習概論 II	2
	社会教育演習	2	社会教育演習	3
申請事由及び適用条件	●●大学において上記資格科目を修得済みのため 大学等の社会教育主事養成課程で修得した科目であれば、記入例のとおり記載する。過去の社会教育主事講習で修得した科目であれば、「平成●年度●●大学社会教育主事講習で修得済みのため」と記載する。 ※福井大学履修証明プログラムの場合、「令和●年度福井大学履修証明プログラムで履修のため」と記載。			
備考				